

MAC POWER

10
OCTOBER 2007
VOL. 18 NO. 10
ISSUE 214
特別定価 ¥1100

MAC CREATIVE LIFESTYLE

平成2年7月19日第三種郵便物認可 平成19年10月1日発行(毎月1回発行)第18巻第10号通巻214号

クリエイター50人による推薦図書250冊

My Recommended Books

海外に行ったら立ち寄りたいブックストア

NIKE TOKYO DESIGN STUDIO

ハイデザイン建築の街 スペイン・バルビオ

John Woo PRADA HASYMO「EX MACHINA —エクスマキナー—」

映像クリエイター必携の最新制作環境

ADOBE CS 3 PRODUCTION PREMIUM



21 千原けん輔 (エキソニモ)

メタな5冊



千原けん輔と赤岩えいによるアートユニット「エキソニモ」。1996年よりウェブ上で体験できる実験的プロジェクトを数多く手がけている。2006年、アルス・エレクトロニカのネット部門ゴールデンニカ(グランプリ)受賞。自作のソフトウェア/デバイスによるインスタレーションやライブパフォーマンス、イベントプロデュースなど、現在の活動は多岐にわたる。活動の拠点は東京とexonemo.com。



九十九十九

舞城王太郎 / 講談社 / 880円 「章が終わるとその内容が小説となって、次の章の主人公に届く。小説が小説を内包し、入れ子構造が深まる! 入れ子がワープでループなこのメタ小説は、何もかもを巻き込んだ混乱で頭が気持ちよくなります」



RIDE SAFE

立花ハジメ / <http://boccs.jp/> 「立花氏が乗るビストバイクの視点から切り取った、疾走する路面のデザイン本かと思いきや! そのデザインを成り立たせる存在のフレーム(=肉体)が、メタデザイン、イコール、ドキュメンタリー [http://boccs.jp/viewer/12x9_hajime/]

22 丸野 優 (GLAMOOVE)

いつか役立つかもしれない辞典、図鑑、カタログ、地図



97年よりGLAMOOVEとしてVJを中心に、「motiondive」や「LiFE with PhotoCinema」など新しい映像文化を発信するプロジェクトへ多数参加。「表参道ヒルズ」の全館の映像コンテンツディレクション、「Live earth 元気口ケツ」の映像演出など新しい映像文化を提案するプロジェクトを行っている。また、デジタルカメラの新しいライフスタイルを提案するLivingImage㈱を設立。www.glimv.jp



Point It

Dieter Graf / Graf Editions / 977円 「生活に関わるさまざまな写真がアーカイブされていて、単語が分からない! と思ったら、写真を探して指差すだけの辞書。ビジュアルコミュニケーションは言語の壁を超える」



日本大歳時記

講談社 / 6932円 「おもてなしがクリエイティブに重要な役割を担う中、日本らしいおもてなしを意識するのにおすすめ。なんとなく読んでいても楽しい」

23 坂崎タケシ (スタイリスト、DJ)

今年の夏、読み返した5冊



1968年熊本生まれ。スタイリスト事務所「Style LAB.」代表。ファッションから広告/CF、そしてミュージシャンや俳優やタレントなど、幅広いフィールドでスタイリング活動を展開中。週末はDJとしての顔も持つ。



詩集 月に吠える

萩原朔太郎 / 写真は日本図書センター版 / 2940円 「中学生時代に会った孤高の詩人の代表作。詩集は仕事の合間に読むには最適」



グレープフルーツ・ジュース

オノ・ヨーコ(著)、南風 雅(訳) / 講談社 / 680円 「『想像力』は世界を変える原動力となる。クリエイター面してるクソガキどもに読んで聞かせてやりたい(笑)」

24 酒井俊彦 (株酒井デザインアソシエイツ)

これから読みたい



主に、家電製品や家具のデザインを手がける。2004年「JAPANESE DESIGN TODAY 100」、2005年日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞 マルタカCelebisu マッサージチェア受賞、2005年「Design tide PANTONE+ Yoko sofa展」「おいしいキッチン05展」、2006年red dot design concepts interaction & communication / red dot award受賞、2007年「おいしいキッチン07春展」など開催



伊勢丹 女々

川島春子 / 日本経済新聞社 / 1575円 「ノウハウ本やビジネス本は読まないのですが、『伊勢丹』の『女』に惹かれてちょっと読みたいと思っています。客で行くのと業者で行くのでは別人かと思うほど態度が違う伊勢丹女々の気持ちもわかるかもしれません」



陰翳礼讃

谷崎潤一郎 / 中央公論新社 / 500円 「デザイナーとしては読んでないといけない本なんです。実はまだ読んでません。若いころ『稗の構造』を読むのに1年かかったのがトラウマで、なかなか手にとれずここまで来てしまいました」

25 青野賢一 (BEAMS RECORDS)

いつだって読み返したい



セレクトショップBEAMSが手掛けるレーベルBEAMS RECORDSのディレクターであり、同ショップのバイヤー、そしてまたファッションの分野ではBEAMSのプレスを担当。選曲・DJ業、雑誌やウェブでの連載など、独自の視点で音楽、ファッション、文学、映画などを観るそのスタイルは、多くの支持を得ている。



ドラ・マグラ (上・下)

夢野久作 / 角川書店 / 525円 (上巻) 「高校生の時に読んで以来、ずっと手元においてある。さまざまなサブストーリーが複雑にもつれ合い、どれが本編やら分からなくなるほどの難解さだが、文字としっかり向き合いたい時に必ず手にとってしまう」



うたかたの日々

岡崎京子 / 宝島社 / 1680円 「ボリス・ヴィアン『日々の海』をコミックにトランスレートした傑作。無邪気で美しく、そして悲しい物語は、何度読み返しても新鮮さ失わない。涙とこころの奥が、ツーンとする1冊」



ちへいせんのみえるところ

長 新太／ピリケン出版／1680円 「右側のページが本の中心を軸に回転し、左側のページになる、その時!!『でした。』俺は何を見ているのか? メタ平面。ちへいせんのみえるところとはズバリ読者の居る場所のことだった」



スターメイカー

オラフ・ステープルドン／国書刊行会／2730円 「平凡な男衆、宇宙のはて。パワー・オブ・テンを内面から描いたような。スターウォーズがアリンコの喧嘩に見えるような。壮大すぎるメタ生命体化の連続。宇宙規模の出世物語」



アントニオ猪木自伝

猪木寛至／新潮社／540円 「1、2、3、ヨンダァァ! スケールのデカさと、振れ幅のデカさに笑うしかないメチャメチャ人生について。初体験まですべて夢精。メタポリックで死にかける。仲間に裏切られて1億借金。それが飄々と語られる」



日本・中国の文様事典

視覚デザイン研究所／3150円 「文様おのののの意味や組み合わせの面白さなどが分かる本。日本のグラフィックに対するユニークな視点を感じられる」



メイド・イン・トーキョー

貝島桃代(著)、黒田潤三(著)、塚本由晴(著)／鹿島出版会／1995円 「意味をなさないデザインの建築を扱ったカタログ。独自の視点でカタログを作るとメッセージと本が出来るということが分かる面白い本」



建築MAP東京

ギャラリー・間／TOTO出版／1680円 「各都市の近代建築をプロットした地図。今でも立っている建物が多くあり散歩向け。地図によって伝えられるものがたくさんあると思う1冊です」



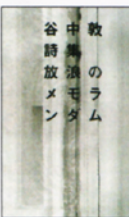
地獄の季節

ランボオ(著)、小林秀雄(訳)／岩波書店／420円 「毎年夏になると読みたい衝動に駆られてしまう。今年、久々に読んでみたけどやっぱりヤバい。天才とはこういう人のためにある言葉」



芭蕉 おくのほそ道 付・曾良旅日記、奥細道菅笠抄

松尾芭蕉／写真集岩波書店版／735円 「序文からブツ飛ばされますね。何度読んでもシビれます。彼の『不易流行』という考えかたには俺も相当影響を受けてます」



放浪のメモランダム 谷中教詩集

谷中 教／双葉社／1785円 「東京スカパラダイスオーケストラ、谷中氏の詩集。彼は世界を旅しながら、携帯のメールで詩を書き、友に送る。その集大成がこの詩集。俺にも通2でメールが来ます(笑)」



ドガに就て ドガ・ダンス・デッサン

ボール・ヴァレリイ(著)、吉田健一(訳)／筑摩書房／1365円 「ヴァレリイが書いてあるということもあってとても読みたいのですがなかなか中古が見つかりません。詩人から見た画家というだけでとても興味があるのです」



ナンバーファイブ (新装普及版) 第1集

松本大洋／小学館／1100円 「唯一読んでいた漫画なので再開したいのですが、きっかけがつかず今日に至っています。世界がきっちり構築されているので読んで心地いいです」



毛皮のマリー 戯曲

寺山修司／角川書店／609円 「特に理由はありますが、この前『阿Q正伝』を買って(まだ読んでません)、次は毛皮のマリーがいいかなと思ってます。自分なりの『読んでない』とすいすいしよ! リストの中の1冊です」



ホラー・ドラコニア 少女小説集成 (全5巻)

流澤龍彦(著)／はか／平凡社／各1890円 「流澤の小説・翻訳に、会田誠らの挿絵を配した作品。各巻で挿絵の作家が違い、新しいイメージの流澤を読むことができる。山口晃が挿絵を担当した『菊壇台』が白眉の美しさ」



影法師の誘惑

種村季弘／河出書房新社／733円 「少女／人形／幻燈／玻璃／幼年／睡眠——をキーワードにした著作集。異なるイメージや対象を、見事に新たな価値に昇華する。言葉の錬金術は自分の文章スタイルにも多大な影響を与えている」



鏡の国のアリス 不思議の国のアリス

ヤン・シュヴァンクマイエル(絵)／エスキアマガジンジャパン／各2625円(写真は『鏡の国のアリス』) 「チェコのアニメ作家・絵本作家シュヴァンクマイエルの作品は、非常にミニエリスム。本作も、アリスのある種グロテスクな世界を、見事に切り取っている」